

2014年9月8日

東芝メディカル、エレクタとの間でリニアック販売／保守で合意

東芝メディカルシステムズ(株)は、放射線治療に用いるイメージガイドおよび定位放射線治療法の分野で、世界トップクラスのエレクタ(株)との間で、2014年9月1日以降、Elekta AB社製リニアック装置の日本への輸入及び薬事申請手続、マーケティング施策及び情報の提供等は従来どおりエレクタが行い、新たな販売についてはエレクタから購入した東芝メディカルが行っていくことで合意した。

東芝メディカルは2010年10月に同装置の国内販売についてElekta AB社及びエレクタとの契約に合意し、販売を行ってきたが、今後のElekta AB社製リニアック装置の国内販売については東芝メディカルが一元的に行うことになる。

さらに、本年11月1日より「エレクタサポートセンター」(港区・田町)をコール窓口としてサービス窓口を統合する。

東芝メディカルがElekta AB社製リニアック国内販売を開始して以来、着実に販売台数を伸ばし、2014年8月現在、国内では150台超(エレクタ販売分含む。)の同社製リニアック装置が稼働している。窓口を一本化することで、専門的なスタッフから直接ユーザーをサポートすると共に、迅速、適切な前線への指示を行い、ユーザーに対してより迅速で満足度の高いサポート、サービスの提供を目指す。

また、東芝メディカル本社内にはユーザー環境に極めて近い設備環境の中、実際に治療ビームを出力しながら研修することができる、国内初の施設「放射線治療研修センター」(2012年設立)がある。オペレーション教育、QA/QC教育を始め、カスタマーエンジニア研修など、年間20以上のトレーニングコースを実施し、安心・安全な放射線治療ソリューションを提供している。

今後も東芝メディカルとエレクタは両社のそれぞれの強みを生かし、がんの診断から治療まで、最先端の技術を集めた臨床的有用性の高いトータルソリューションを提供していく。

以上